

第 1 1 章 啓発事業

市では、地球環境及び地域環境の現状について多くの市民、特に次世代を担う子供たちに情報を提供することにより、市民一人ひとりが環境について関心を持ち、環境を守る取り組みの第一歩を身近なところから始めてもらうきっかけづくりを目的とした次のような啓発・広報活動を行っている。

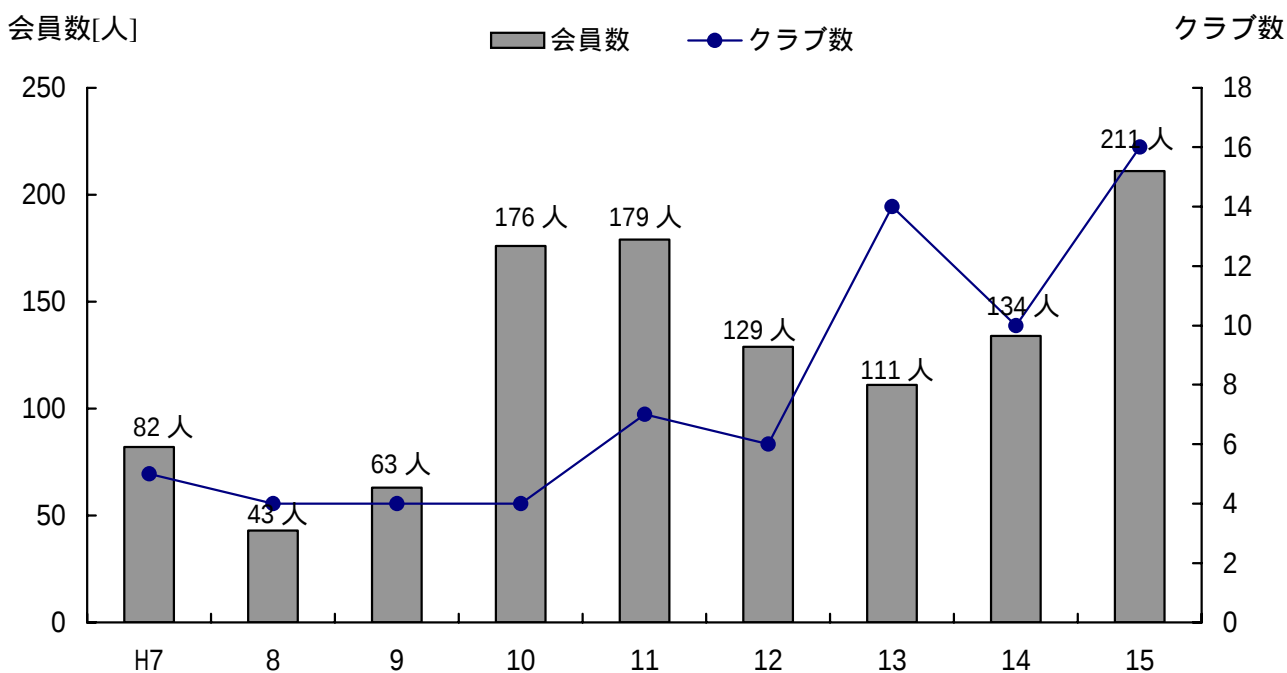
１．こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、次世代を担う子供たちが主体的に行う環境学習及び環境保全に関する活動支援を目的として、平成７年度から環境庁（現環境省）が実施している。市も平成７年７月、環境課内に「こどもエコクラブ」の事務局を設置し、以来、年間６回程度の自主開催イベントによる啓発活動を展開している。平成１５年度は１６団体２１１人がこどもエコクラブに参加した。

表 - １ 平成 15 年度こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況

団 体 名	会員数	団 体 名	会員数
あすなろ子供会	26	二人クラブ	1
団体名なし	2	まさとクラブ	1
たんぽぽ	2	日奈久キッズ	6
中田 どっと ネット	2	宮地小５の１	36
八代市立第四中学校２年選択理科	22	団体名なし	1
八代市立宮地東小学校東町探偵団	8	ガールスカウト熊本県第 22 団	9
ボーイスカウト八代第 3 団カブ隊	23	ひばり児童会	5
金剛がんばるクラブ	33	金剛なかよしクラブ	34

図 - １ こどもエコクラブ八代市事務局における登録状況の推移



【平成15年度こどもエコクラブイベント実績】

イベント名	開催日	開催場所	参加人数
春の野鳥観察会	平成15年4月19日	球磨川河口	雨天中止
ほたる観察会	5月28日	ほたるの里公園	120人
水生生物観察会	7月27日	ほたるの里公園	35人
干潟観察会	8月31日	大島干潟	46人
夏期星空継続観察会	8月10日	宮地東小学校	45人
こども葉っぱ判定士	8月20日	八代城址公園	24人
秋の野鳥観察会	10月25日	球磨川河口	37人
冬の野鳥観察会	平成16年1月17日	球磨川河口	雨天中止
合計			307人

野鳥観察会

球磨川河口干潟一帯における野鳥の観察及び生態系における鳥の果たす役割についての学習等を通して、子供たちが身近な自然に親しみながら環境への関心を深めることを目的として、八代野鳥愛好会の指導のもと観察を行った。



ほたる観察会

ほたるの里公園（妙見町）に生息するホタルや餌であるカワニナの生態について学習することで、生活排水が河川環境に与える影響について考えた。その後、公園周辺に生息するゲンジボタルを親子で観察した。

水生生物観察会

身近な川の水環境を調べることを通して、水質汚濁や生活排水対策について考えてもらうことを目的とし、熊本県「川の水環境の調査方法」に沿って河川の水環境評価を行った。

透視度、パックテストによるCOD、pHの簡易調査及び指標水生生物調査を行った。



スターウォッチング

全国星空継続観察参加によるもので、星空の観察という身近な方法による大気環境の調査を通じて市民の大気環境保全に関する認識を高めることを目的としている。光害について学んだ後、「こと座のベガ」等を八代星空の会本田修さん、永原博英さん指導のもと観察した。



干潟観察会

干潟に生息する生き物の観察やアサリの浄化実験等を通して、干潟の浄化作用、多様性などについて考える機会を提供し、自然保護及び環境保全意識の高揚を図った。



こども葉っぱ判定士

八代城址公園内の樹木が吸収する二酸化炭素量等の計算や、葉っぱや樹木を観察することで、樹木の重要性や地球温暖化防止に対する取組みに関して学習した。



2．環境学習出前講座「環境ゼミナール」

(1) 目的

環境行政に携わる市職員（環境課及び廃棄物対策課）が直接出向き、地球環境問題をはじめ、私たちの生活に身近な環境・自然の状況について事例紹介等を行い、地球環境及び本市の環境の現状について考える機会を提供する。

(2) 派遣対象

市内の小・中学校、その他各種団体



環境ゼミナール会場の風景

(3) 内容

小・中学校等の希望する講座内容にあわせ、事前打合せを行ったうえで、簡易実験等を取入れながら実施している。また、水生生物観察会、干潟観察会等の野外活動や自然観察についても可能な限り対応している。



野外活動風景

(4) 平成 15 年度環境ゼミナール事業実績

平成 15 年度実績は次のとおりである。依頼内容としては、干潟や河川の環境、ごみ問題に関する内容が多かった。

平成 13 年度 (19 回、930 人)、平成 14 年度 (23 回、1,061 人) と実施回数及び参加人数ともに大きな増減はないが、依頼対象が小中学校に限らず、様々な方面からの依頼が増加している。

実施日	依頼元	人数	内容
4 月 17 日	八代市社会福祉協議会	15	地球環境全般
5 月 27 日	宮地東小学校	10	水生生物観察会
6 月 18 日	八代小学校	71	川の水質について
6 月 20 日	第七中学校	2	川の水質について
6 月 26 日	市教育委員会	100	省エネルギーについて
7 月 8 日	八代小学校	60	干潟観察会
7 月 10 日	八代小学校	71	干潟観察会
7 月 12 日	ボーイスカウト第 3 団	20	水生生物観察会
7 月 24 日	太田郷校区婦人会	50	生活雑排水について
8 月 29 日	グリーンコープ生協くまもと県南地域本部	58	ダイオキシンについて
9 月 10 日	宮地小学校	38	水生生物観察会
9 月 27 日	八千把小学校 PTA	70	干潟観察会
10 月 22 日	八代女性市民の会	10	ごみ問題と新エネルギー
11 月 12 日	太田郷校区婦人会	45	地球温暖化
11 月 20 日	松崎第二老人クラブ	40	環境問題について
11 月 25 日	さわやか大学 八代校	14	環境問題全般
11 月 30 日	八千把小学校 PTA	50	ネーチャーゲーム
平成 16 年 1 月 13 日	昭和小学校	13	松葉ダイオキシン類調査
1 月 15 日	二見小学校	45	松葉ダイオキシン類調査
1 月 16 日	高田小学校	103	松葉ダイオキシン類調査
1 月 16 日	宮地小学校	30	松葉ダイオキシン類調査
1 月 22 日	金剛小学校	27	松葉ダイオキシン類調査
1 月 23 日	宮地東小学校	7	松葉ダイオキシン類調査
23 回 延べ 949 人			

３．環境月間等

(１)「環境月間」及び「環境の日」

６月５日は、ストックホルム国連人間環境会議の開催（昭和４７年６月）を記念して決定された国連の「世界環境デー」である。わが国においても平成３年度から、６月を「環境月間」とし、環境保全活動の重点推進を図っている。

また、平成５年１１月に制定された「環境基本法」では６月５日を「環境の日」と定めており、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい事業を実施するよう明記されている。市としてもクリーンな地域環境を維持、向上させるため次の活動を実施した。

平成１５年度「環境月間」行事

行 事 名	期 日	内 容
市職員エコ通勤	６月中	マイカーによる通勤を控え、徒歩、自転車、バス等の公共交通機関を利用した通勤を励行した。
市広報紙掲載	６月１日	広報紙「広報やつしろ」に環境月間行事等を掲載し、広く市民に周知することで、環境保全意識の向上を促した。
市内一斉清掃	６月１日	市政協力員等の呼びかけにより町内の清掃を行い、生活環境の美化に努めた。
浄化槽の立入検査	６月５日	八代市、八代保健所及び浄化槽協会とで実施。使用者に適正な使用方法と維持管理の必要性を促した。
市職員清掃奉仕活動	６月６日	せせらぎ水路（松江町）の清掃作業を行った。
球磨川流域一斉清掃	６月８日	球磨川をきれいにする協議会の後援で同協議会がきめた「球磨川の日（６月１日）」を記念し、球磨川流域の一斉清掃を行った。
廃棄物不法投棄 パトロール	６月２３日	八代保健所と協力して市内の不法投棄場所を調査し、不法投棄者には指導を行った。
環境フェスティバル	７月６日	市民団体が主催する環境保全啓発イベントに参加した。環境パネル展示、チラシ及び啓発用品配布などを行い、環境保全について市民に啓発を行った。
特定建設作業状況調査	７月８日	市内の建設工事現場を調査し、法定届出の提出や適正な作業の指導を行った。

(2) 平成 1 5 年度「環境衛生週間」

生活環境の保全及び公衆衛生を向上させるため、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行日である 9 月 24 日（清掃の日）から「浄化槽法」の施行日である 10 月 1 日（浄化槽の日）までの期間「環境衛生週間」にあわせ、八代市では次の活動を実施した。

平成 1 5 年度「環境衛生週間」行事

行 事 名	期 日	内 容
浄化槽立入検査	9 月 24 日	各家庭の浄化槽を調査し、使用者に適正な維持管理を促した。
市内一斉清掃	9 月 28 日	環境衛生週間中に市政協力員の呼びかけにより、各町内の実情に応じて一斉清掃を行った。
環境美化推進善行者表彰	10 月 7 日	日頃から住みよいきれいな地域社会及び美しい街づくりに尽力している個人、団体を表彰し、その功績を称えた。
環境美化推進研修会	10 月 7 日	熊本県環境センターから講師を招き、環境美化についての講演を実施し、啓発を行った。

4．松葉ダイオキシン類調査

(1) 調査目的

松の針葉（以下、「松葉」）は、脂肪分が多く、呼吸を通じてダイオキシン類を蓄積しやすい性質を持っていることから、松葉を環境指標としたダイオキシン類調査が全国的に実施されている。

市として本調査を実施することにより、大気中のダイオキシン類の長期的な平均濃度が把握できる。市民参加型で取り組むことにより、市民と分析結果等の情報が共有できる。教育機関と連携することにより、環境学習としての効果が期待されることをベースに市民の環境意識の向上を図る。

(2) 調査内容

調査地点

市内の10小・中学校を下記の4つのグループに分けて、それぞれの地域の平均濃度を把握した。（図-1）また、希望する8小学校では学習会を開催した。

第1グループ（北部地域）・・・松高小、昭和小、宮地小

第2グループ（南部地域）・・・高田小、金剛小、日奈久小

第3グループ（発生源周辺）・・・第三中、太田郷小

第4グループ（対照地域）・・・宮地東小、二見小

測定方法

生活共同組合グリーンコープ連合等が実施している調査との比較を可能とするため、摂南大学(大阪市)薬学部宮田研究室の手法に準じた方法とした。

(3) 調査結果の概要

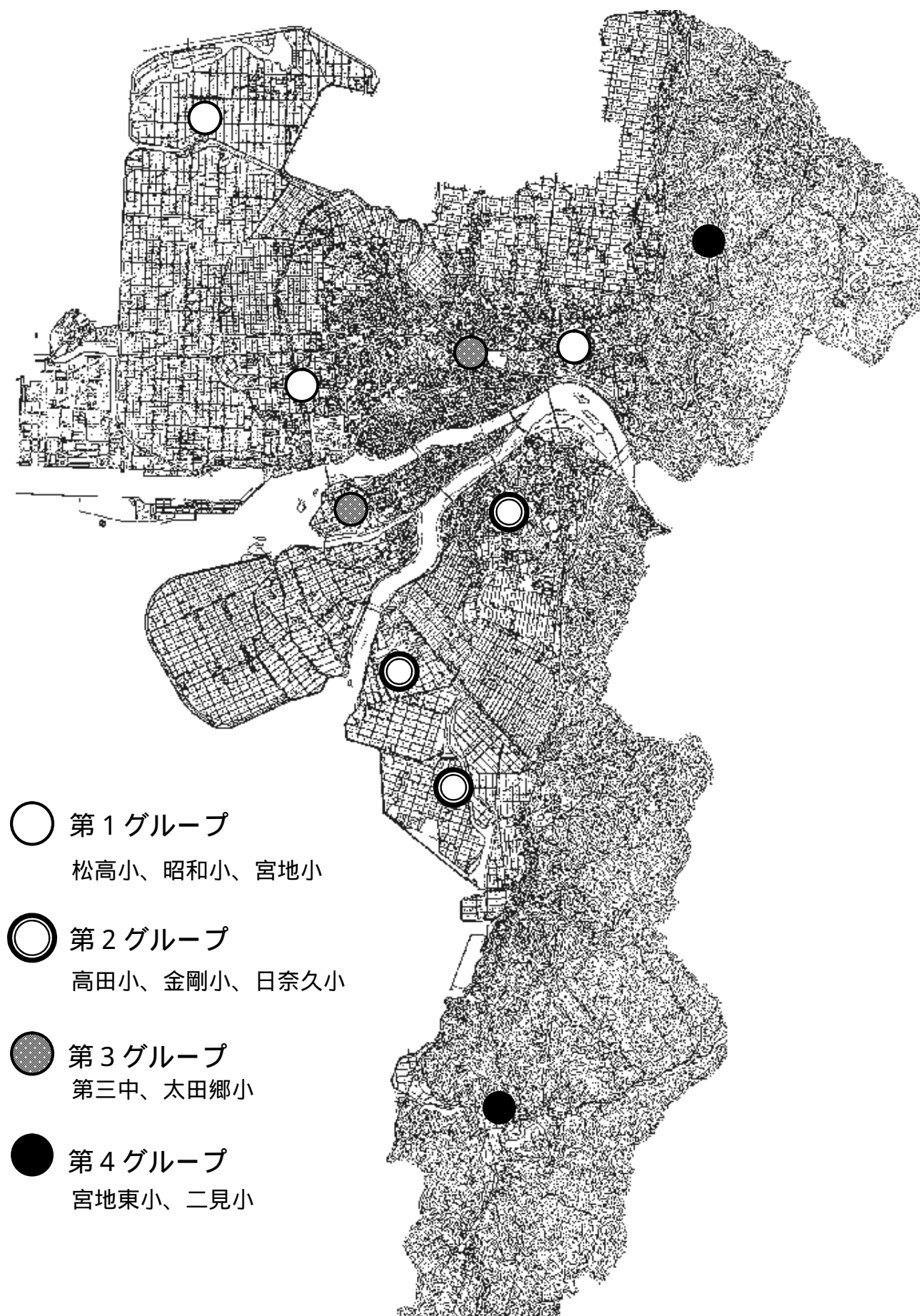
第1グループが0.76pg-TEQ/gと最も濃度が高く、以下、第3グループ0.57pg-TEQ/g、第2グループ0.31pg-TEQ/g、第4グループ0.27pg-TEQ/gの順となった。4グループの平均は0.48pg-TEQ/gとなり、グリーンコープ連合が調査した中国・九州地域全55検体の平均濃度（0.66pg-TEQ/g）と比べて3割低い結果となった。

また、松葉中のダイオキシン類濃度から大気中のダイオキシン類濃度を推計すると、下表のとおりとなり、大気環境基準（年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³）を大きく下回っていた。

同族体、異性体パターン分析をみると、全グループで焼却由来の特徴を示し、更に第4グループでは農薬由来の可能性を示す特徴がみられた。

	松葉濃度（実測） pg-TEQ/g	大気濃度（推定） pg-TEQ/m ³
第1グループ	0.76	0.076
第2グループ	0.31	0.031
第3グループ	0.57	0.057
第4グループ	0.27	0.027

図 - 1 松葉ダイオキシン類調査地点



5 . 広報活動

本市では、環境に関する身近な情報をいち早く市民に届けるため、広報紙やメディアを活用した広報活動を積極的に展開している。

(1) 広報紙「広報やつしろ」

発行月日	掲載内容
4 月 1 日号	グリーンコンシューマー養成講座の報告 犬の登録と狂犬病予防集合注射について エコライフは得ライフについて
4 月 15 日号	春の野鳥観察会参加者募集について こどもエコクラブ会員募集について
5 月 15 日号	まぜればごみ分ければ資源（特集） ・ ごみ減量・リサイクル推進週間について ・ ごみ組成調査について ほたる観察会参加者募集について
6 月 1 日号	干潟に野鳥を見に行こう！（特集） ・ シギ・チドリ類について ・ シギ・チドリネットワークについて 6 月は環境月間 ごみダイエットにチャレンジ（特集） ・ 生ごみ半減キャンペーンについて こどもエコクラブ会員募集について 環境汚染物質排出移動登録（PRTR）制度について
6 月 15 日号	チャレンジエコライフモニター募集について 市民環境研究会会員募集について 環境フェスティバル開催について
7 月 1 日号	ほたる観察会の報告 環境フェスティバル開催について
7 月 15 日号	地下水フェスタ参加者募集について 夏休みこどもエコクラブ特別企画第 1 弾の参加者募集について 犬のふん処理街頭指導について
8 月 1 日号	グリーンコンシューマー講座受講者募集について 旧軍毒ガス弾などに関する情報提供のお願い 夏休みこどもエコクラブ特別企画第 2 弾の参加者募集について
8 月 15 日号	私にできる地球温暖化防止（特集） ・ エコライフは得ライフについて ・ 八代市温暖化防止率先行動計画平成 14 年度の取組状況報告 くまもとみんなの川と海づくりデーについて

発行月日	掲載内容
9月1日号	干潟観察会の報告 夏のスターウォッチングの報告 移動式ボカシ製造機貸出について 廃棄物 110 番について
9月15日号	グリーンコンシューマー講座受講者募集について 廃油石けんづくり参加者募集について
10月1日号	くまもと・みんなの川と海づくりデーの報告 グリーンコンシューマー講座の報告 グリーンコンシューマー講座受講者募集について 秋の野鳥観察会参加者募集について 家庭系パソコンのリサイクル制度について
10月15日号	10月はリサイクル月間です（特集） ・ 3Rについて ・ 資源の日のワンポイントアドバイス ・ 家庭系パソコンの回収・リサイクルについて 秋の野鳥観察会参加者募集について
11月1日号	不法投棄禁止や野焼きの自粛について
12月1日号	Stop！地球温暖化（特集） ・ 地球温暖化について ・ 家庭でできる温暖化対策について
12月15日号	害虫駆除用薬剤回収について 年末年始のごみ収集について
1月1日号	冬の野鳥観察会の参加者募集について
2月1日号	松葉ダイオキシン類調査の報告 飼い犬の登録等について 殺鼠剤配布について 一般廃棄物処理手数料一部改正について
2月15日号	2月は省エネルギー月間です（特集） ・ 環境家計簿について ・ 「エコライフは得ライフ」について 一般廃棄物処理手数料一部改正について
3月1日号	「エコライフ」セミナー参加者募集について 一般廃棄物処理手数料一部改正について
3月15日号	犬の登録と狂犬病予防集合注射について

(2) ラジオ「FM やつしろ」による放送

放 送 日	放 送 内 容
平成 15 年 4 月 7 日	こどもエコクラブ会員募集と春の野鳥観察会参加者募集について
4 月 14 日	環境のホームページについて
4 月 28 日	事業所ごみの減量対策について
5 月 19 日	ほたる観察会参加者募集について
5 月 26 日	環境月間について
6 月 2 日	きれいなまちづくり協定について
6 月 9 日	燃えるごみの減量化対策について
6 月 23 日	樹木・剪定屑リサイクル事業について
7 月 14 日	夏休みこどもエコクラブ特別企画について
7 月 28 日	生ごみ半減キャンペーンについて
8 月 11 日	平成 15 年度みんなの川と海づくりデーについて
8 月 18 日	ばかし製造機の貸し出しと生ごみ半減キャンペーン
9 月 8 日	環境衛生週間について
9 月 22 日	リサイクル推進月間について
10 月 6 日	秋の野鳥観察会の参加者募集について
11 月 17 日	不法投棄・野焼き防止について
12 月 1 日	地球温暖化とは
12 月 8 日	年末年始のごみ収集
12 月 22 日	冬の野鳥観察会開催について
平成 16 年 2 月 2 日	省エネルギー月間について
2 月 9 日	資源回収活動助成事業
3 月 22 日	狂犬病予防接種の目的と注意事項
3 月 29 日	八代市の地下水と浄水器と水質検査補助制度について

(3) その他

環境フェスティバル（本町アーケード街、平成 15 年 7 月 6 日）

例年、八代の環境を考える会が環境月間行事の一環として開催している「環境フェスティバル」に参加した。約 20 の市民団体が参加しており、市も市民団体の自主的な環境保全啓発活動に平成 7 年度から参加している。

平成 15 年度は地球温暖化等の地球環境問題やごみ問題に関するパネル展示、リサイクル自転車の抽選や廃油粉石けん、EM ボカシの配布等を行った。

やつしろ広域環境フェスタ（球磨川河川敷スポーツ公園、平成 15 年 11 月 15 日～16 日）

八代郡市で構成される八代広域市町村圏が共催した「九州スリーデーマーチ」の 1 イベントとして開催。地球温暖化をはじめとした環境問題について、圏域住民が一体となって取り組み、自然豊かなすばらしい「やつしろ」を次世代に引き継ぐ啓発の場となることを目的とし、環境パネル展示、環境クイズ、リサイクル工作などを行った。